

NEW ASUMA

Vol.3

通刊 18号

三菱農業機械はずっと愛される製品とサービスで、
“食”を支える農業の発展に尽くしてまいります。



アグリビジネス最前線 農業×ICT 営農支援ツールで農業に見える化する

ユーザー紹介 USER'S FILE 株式会社 新田野ファーム（千葉県いすみ市）・株式会社 松尾ファーム（宮崎県西都市）

NEWマシン紹介 New Machinery コンバイン／一輪管理機／トラクタ

ASUMA掲示板 これから始める人へ GAPの基本の㊦

ごはん賛歌 歌手・坂本冬美

宮崎県/宮崎牛



営農支援ツールで 農業を見える化する

ICTやロボット技術を活用して省力化をはかり、高品質生産を実現する新しい農業・スマート農業。スマートフォンやパソコンで農業記録を残す営農支援ツールは、最も手軽に導入できるスマート農業のひとつです。今回は、簡単・安価で多機能な営農支援ツールとしてシェアを広げている「アグリノート」取材。働き手の減少や生産の効率化といった農業が抱える課題へどのようなソリューションで応えているのかを聞きました。



これまでの課題

- 文書や作業記録がバラバラ
- ほ場を間違えて作業してしまう
(施肥、農薬散布、草刈、収穫など)
- 離れたほ場同士で情報共有をするのが大変
- 生育の状況や作業の進捗を全体で把握できない
- ベテランの技や勘、知見が若手へ継承されない

営農ツールを導入すると

- 見たい記録が一か所にまとまり経年の変化もわかる
- 勘違い・伝え間違いがなくなる
- 誰がどこで何をしたかが即時に共有できる
- 生育の状況や作業の進捗を全体で把握できる
- 過去の記録の分析で若手に知見が継承される



農地の集中・大規模化で ほ場管理が煩雑に

農業の労働力不足は深刻化の一途をたっています。後継者のいない田畑を維持するため、農業法人などの経営体へ営農委託する農家も増加。2015年の農林業センサスによると、100ha以上の耕地が集積する大規模経営体はここ20年で急増し、耕地規模5ha以上の経営体も6割に迫る多数派となっています。

小規模農家が減り、中・大規模経営体に農地が集中する流れは今後さらに加速すると農林水産省は予測しています。「アグリノ

ート」誕生の背景にも、まさに同じ課題がありました。

「今から10年前、田んぼを複数管理する農家が、煩雑さで悩んでおられました。農地に目印がなく委託を受けた場所ではない田を耕してしまったり、施肥や農薬散布の記録がゴチャゴチャになったり…。ICTで何とかできないかと相談され、アグリノートの開発がスタートしました」(ウォーターセル株式会社・代表取締役／長井啓友さん、以下長井さん)

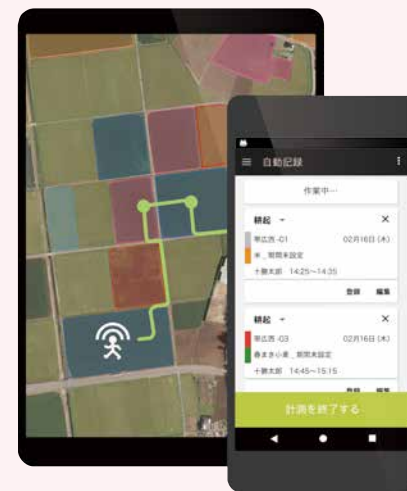
2年弱の開発を経て2012年、スマートフォンアプリをリリース。当時、既存の営農システムは高価で大がかりなものが多く、気軽に使える「アグリノート」は注目を集めました。

地図で見るから 現場スタッフも間違えない

「アグリノート」の最大の特徴は、地図上でグラフィカルにほ場を管理できること。航空写真(Google Map)とスマートフォンのGPS機能を活かし、ほ場を地図で確認しながら「いつ、誰が、何を、どのくらい」という作業記録を即時にスマートフォンに入力して残せます。

ほ場は色分けして地図上に表示されます。ほ場をタップすると各ほ場の作業記録がすぐに表示され、どここのほ場で何が行われていたかをいつでも確認できます。自動記録機能を起動しておけば、GPS情報をもとにアプリが作業内容を自動で判定し、作業記録を下作成する機能も。数年前の記録も、クラウドサーバ上からその場で引き出せます。

「例えば、昨年や一昨年はどの農薬をどのくらい使ったかを現場でそのつど振り返れます。害虫被害の写真を撮って記録に添付しておけば、事務所の台帳を一つ一つ調べてメモしたり、草丈や葉色などの生育状況の写真をプリントして整理・保管する手間が省けて効率化が図れます」(長井さん)



自動記録下書き機能 画面イメージ

作付計画から労務管理まで 営農のすべてを記録・出力

水稻農家の声をもとに開発された「アグリノート」ですが、ほどなくして畑作や果樹向けの機能も追加され、高い評価を得ています。

「畑作農家は、病気を防いで収量を上げるために複数の作物を効果的に輪作する必要があります。アグリノートでは作付品目を一覧で表示・管理できるため、どの年に何を植えて収支はどうだったかが一目で見渡せて、今後は何をどう植えていけば収益が上がるかという予測や作付計画も立てやすくなります」(長井さん)

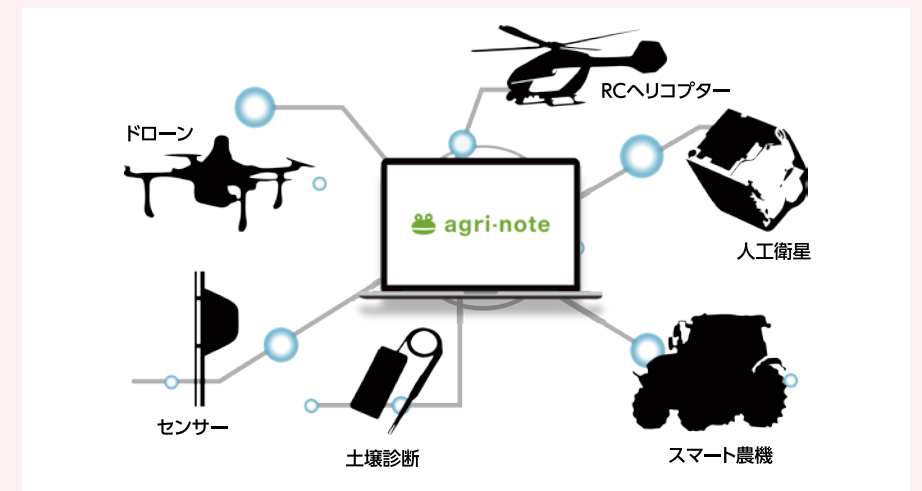
いくつものほ場を管理している農家は、パートタイムで作業スタッフを雇っていることも少なくありません。スタッフ管理が簡便な点も、利用者から好評だそうです。

「人が増えることで起こる指示漏れ・引継ぎ漏れを防げるので、離れたほ場のスタッフ同士が電話でやりとりする回数が減ったそうです。人が増えると労務管理も複雑になりますが、誰が何時間働いたかが農業記録とともに残るので、給与計算も簡単です」(長井さん)

熟練ノウハウが見える化し 指導者不足問題に光明

「アグリノート」は、三菱マヒンドラ農機のMITシステムを搭載した機種など、各社のスマート農機と連携しています。農機の挙動を「アグリノート」に同期することで、これまで目に見えにくかった“匠の技”が可視化されるようになりました。

「農機の取り回しや差し込みの深さが計測できる機種もあり、上手いと言われる人の優れた点が数値で分かります。収量と照らし合



アグリノートは各種の最先端技術とつながるプラットフォームになる

わせて見ると面白いですよ」(長井さん)

農業へ新規参入する若手にとって、指導者不足は深刻な問題。作付や施肥、農薬のタイミングなど、これまではベテランの勘や記憶に頼っていたものが「記録」によって数値で把握できるため、新規参入もスムーズになります。

外部サービスを連携し GAP認証など高付加価値生産へ

農業を持続可能にするための取り組み課題であるGAP。自社の営農がGAPに即していることが認定されれば、低リスクで安全な農業を行う証としてGAP認証を取得でき、より付加価値の高い生産が可能になります。

「アグリノート」は、このアプリを使うこと自体がGAPの理念に添うものであると同時に、農業記録が自動で集計され、トレーサビリティにも対応するため、GAP認証の取得要件をスムーズにクリアすることができます。

「アプリがNEC GAP認証支援サービスと連携しているため、GAP取得に必要な情報の整理が効率的に行えます」(長井さん)

スマート農機やGAP認証支援のほか、農業用ドローン、人工衛星、農業センサーなど、すでに世にある技術や各種サービスとの連携の良さも「アグリノート」の特色の一つです。

「アグリノート」をはじめとする営農支援ツ

ルは、今後の農業を支える重要なインフラとして、期待が高まっています。

難しいイメージがあるかもしれませんが、多くのツールはスマートフォンを使って簡単に始められるものばかり。まずはアプリをダウンロードして、自社の営農に合うかどうかを試してから導入できる手軽さも魅力です。

COLUMN

スマートフォンで使える 便利な農業支援ツール



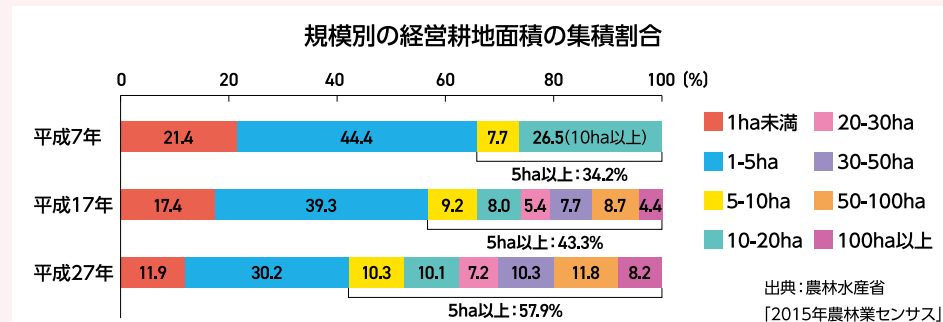
農業調製支援アプリ 混用事例確認・希釈計算

面倒な農薬の使用量や希釈の計算を、「散布面積と使用薬量」「散布液量」「薬量」の3つの方法から簡単に算出できる。
<https://www.nichino.co.jp/products/app.html>

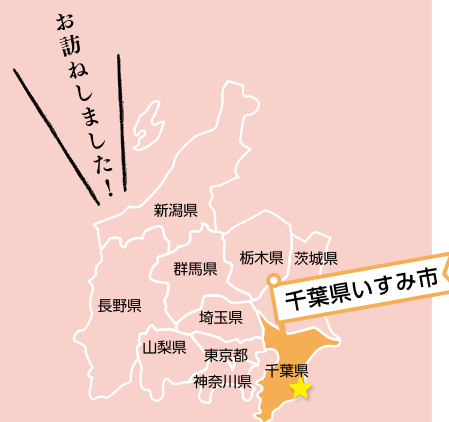


病害虫診断ツール アグリショット

無料通信アプリLINEを使って、柑橘・いちご・ナス・トマトの病害虫を人工知能(AI)で自動診断できるサービス。
<http://www.agrishop.com/>



5ha以上の中・大規模経営体が増加している



千葉県いすみ市
株式会社 新田野ファーム



藤平正一さん(70歳)

USER'S DATA

面積

稲作……………約150ha
(品種) ●五百川
●ふさおとめ
●あきたこまち
●ふさこがね
●コシヒカリ
●ふさのまい
●みつひかり

保有機械

トラクタ GX511、GK510、GVK650(他4台)
コンバイン V6120、VR6108
田植機 LE80D、LV8AD
その他 乾燥調整施設一式



約150haの大規模稲作。人も農機もフル稼働。

古来より良質なお米がたくさんとれたこの地の財産を守ろうと、約150haもの広大な水田を一手に担っている藤平正一さん。知恵と農機を駆使し、米作りと地域の魅力向上に挑んでいます。人も道具も長く強くの「ロング・ライフ」な農業を営んでいます。



150haの農地で大規模稲作を営む。

千葉県房総半島東南部に位置するいすみ市。耕地面積の8割以上は水田、古くは朝廷の直轄地でもあり、皇室献上米にも選ばれたほど良質・良食味の米で知られています。市内約1800haの水田のうち、新田野ファームが担っているのは約150ha。代表の藤平さんは「先祖が守ってきた豊かな土地を誰かが守らねば」という想いから、20年前に農家を継ぎました。

当時の作付面積は約40ha。集落にも120軒ほどの農家がありましたが、今や3〜4軒に激減。新田野ファームが受託する田んぼは増えるばかりで、7名の社員と6名のパートの方々は年間通じてフル稼働だそうです。

多品種水稻で農地を有効活用

約150haの広大な農地で効率よく収量をあげるために、新田野ファームは7種類の米を生産しています。3月下旬には、早生の五百川の田植えがスタート。その後、ふさおとめ、あきたこまち、ふさこがね、コシヒカリ、ふさのまい(酒米)、みつひかりと、生育時期の異なる品種を順々に作付けしています。「田植えがすべて終わってひと段落つく

と、7月下旬にはもう五百川の稲刈りが始まります。最も遅い11月のみつひかりの収穫まで、途切れることなく稲刈、乾燥、もみすりや選別作業が続きます。」

約150haの農地を一気に植えて刈ろうとすると、多くの農機と人手が必要になります。多品種を取り入れ収穫時期をずらすことで、農地と人手と農機をうまく活用しています。

アワーマーターは5年で2000時間に

3ヶ月続く田植え、4ヶ月続く稲刈り、その他育苗や土作り、乾燥調整など日々の作業で農機はフル稼働しています。アワーマーターは5年間で2000時間超。驚異的な稼働率のため、トラブルが起こるリスクも高くなります。



アワーマーターは2000時間を超える。



左から網谷さん、加藤さん、藤平代表、磯野さん、川名さん、鶴岡さん

「機械が1日止まると作業も遅れますので、死活問題です。農機は消耗品、もっと機械が買えれば効率も上がりますが、うちはギリギリなのがつらいところです(苦笑)。」

繁忙期は1日に5haの稲を刈り、20トン以上の米を動かす日々が長い間続きます。

「販売特約店の井上農機商会さんは、修理も部品の補充も抜群の速さ。よく面倒をみてくれるので、その対応力で三菱の農機を選んでます。過去には他メーカーも使ってきましたが、忙しい時期に4日も5日も部品が来るのを待てませんのでね。」

機械トラブル防止のため、メンテナンス専門のスタッフを雇い1日の作業終わりの洗車やグリスアップ等も決して欠かすことがないという新田野ファーム。農機のロングライフ維持には、日々の手入れが欠かせません。

減肥料有機米や菜の花で地域の魅力づくりを担う

先人たちが手間暇をかけて、肥沃にしていきたいすみの田んぼ。一帯はもともと湿地帯、保水性がよくミネラル豊富な粘質土壌は、夷隅統(いすみとう)と呼ばれる特別な土です。

「土がいいので米の味には自信があります。コンバインで作った切り藁をすべて田んぼに鋤き込み、もみ殻も田んぼに戻し、土を豊かにして化学肥料を減らしています」

近年は山の管理も受託しています。伐採した大木は建築資材として出荷しますが、すべて田んぼのためと藤平さんは言います。

「山を保つことは米にもいい影響を与えます。農業も土木も、田んぼに関することなら何でもやりますよ。」

いすみ市といえば、いすみ鉄道。春には線路沿いが菜の花畑となりますが、実は新田野ファームが育てたものだそうです。

「鉄道沿線を菜の花でいっぱいにしようと、市が菜の花プロジェクトを進めています。この一帯の線路沿いはすべてうちが管理する土地なので、地元の魅力づくりのためにラジコンヘリで菜の花を播種しています。」

千葉県独自品種を減肥料有機米で育て、山を保って菜の花を植える。地域の担い手として、地域の魅力をアップする新規事業にも意欲をみせる藤平さんです。

新田野ファーム産の「ふさのまい」で作られた、木戸泉酒造(いすみ市)の無濾過生原酒。



いすみ鉄道

自然豊かな里山を走るいすみ鉄道。かつて都市部に向けていすみの米を輸送した国鉄・本原線を引き継ぐ、第三セクター方式の鉄道です。赤字経営打開策のひとつとして、社長を一般公募したことで話題に。運転士養成プラン、旧国鉄車両の導入、レストラン列車の運行などの斬新なアイデアで、全国区の知名度を誇るローカル線となっています。新田野駅周辺をはじめ、ほぼ全線にわたって、春先になると線路沿いに菜の花畑が出現。花と緑と鉄道が織りなす美しい風景を求めて、多くの観光客が訪れます。



販売特約店 担当セールスマン紹介



有限会社 井上農機商会
井上和政代表取締役社長(左)
菊地亮さん(中)、石橋弘康さん(右)

新田野ファームさんの機械は連続稼働が長いシビアな環境。故障も特殊なケースが多く勉強になります。ひと時も機械を止められないというお客様の緊張感を共有しながら、新田野ファームさん用に部品を先取りしておくなどのサポートを心がけています。



さいと
宮崎県西都市
株式会社 松尾ファーム



松尾洋一さん(58歳)

USER'S DATA

面積

繁殖牛(母牛)……………約160頭
WCS・イタリアンえん麦
……………約30ha(二毛作)

保有機械

トラクタ FAC105、GX46XV、GO260HM、GM550、CASE IH (他3台)
田植機 LV8
その他 畜産インブルメント



宮崎の恵まれた環境を活かし、良質な子牛を伸び伸びと育てる。

燦々と降り注ぐ宮崎の陽光を浴びて、すくすく健康に育つ子牛と、温暖な気候で二毛作、自家生産される飼料米。
20年で事業規模を10倍に拡大した繁殖農家の松尾洋一さんは、飼育環境とエサにこだわった良質な子牛を育てています。



裏作のイタリアンえん麦の畑。茎丈は70~80cmまで伸びるそう

畜産王国・宮崎県の中央部に位置する西都市。種牛、繁殖、肥育と、さまざまな肉牛農家が野菜などを組み合わせた複合経営をしている中で、松尾ファームは牛の繁殖のみを専門で行っています。

2代目にあたる松尾洋一さんが、建設業を辞めて繁殖農家を継いだのは20年前。当時は母牛15頭の規模でしたが、現在はその10倍以上の規模に拡大。事業を大きくできたのはひとえに、研究と試行錯誤の賜物でした。

一人ひとりの得意を生かす

松尾ファームは鹿野田地区の本社のほか、茶臼原、高鍋と全部で3拠点の牛舎を持っています。母牛は現在約160頭。毎月15

頭ほど子牛が生まれ、8~10ヶ月ごろまで育てたら出荷してセリにかけられます。

子牛の品質を決めるのは、生育環境とエサ。密にならず、陽ざしをたっぷり浴びながら運動して育った子牛は、病気になりにくく、がっしりした骨格と筋肉を蓄えます。子牛の頃にしっかりと育てられた牛は、やがて肥育農家で肥えさせても体の重みをきちんと支え、バランスのいい肉になるそうです。

「子牛は生後すぐに同じ月齢の子牛同士



高鍋牛舎の倉岡さん(左)、倉岡さん(中)、黒木さん(右)



花形の大径ディスクが土をしっかりとえ、粘性土の水田・畑も1行程ですばやく耕起

で餌付けを行います。とにかく生まれて4ヶ月までが勝負。時期にあった離乳食をそのときに食べさせないと、骨と筋肉がつかみません。」

松尾ファームは社員8名中3名が女性。女性スタッフは子牛の体調変化に敏感で、世話もきめ細やか。母牛の発情を見逃すこともなく、生産効率アップを支えているそうです。

飼料生産の切り札 ディスクハロー

子牛のセリでは「何を食べて育ったか」が最も重視されます。松尾ファームでは、WCS(稲発酵粗飼料)とイタリアンえん麦、2種類の飼料をすべて自家生産しています。

「牛は単味じゃダメ。だから、1年分の牛の飼料を二毛作で作るんです。30haの土地で2種類の飼料を生産できるのは、温暖な宮崎ならではの利点でしょうね。」

二毛作でも土がやせないのは、牛たちのたい肥のおかげ。より栄養のあるたい肥がとれるよう、母牛や種牛の飼料には広葉樹を炭にした植物性の混合飼料を混和して、良質な土を作っているそうです。

飼料の土作りに大活躍しているのが、三菱マヒンドラ農機が販売する「ディスクハロー」を搭載したCASEトラクタです。圧倒的なパワーとスピードで1反の畑をものの数

分で耕起。たい肥の混和も同時に行います。これまでトラクタ2台で時間と人手と燃料費をかけて行っていた作業が、半分以上の手間とコストでできるようになったと、松尾さんやスタッフは大満足です。

行動力、即決力、 数年先を読む力を大切に

近隣の農家が続々と廃業していく中、松尾さんはさらに攻めの経営を推し進めます。

「人にも牛にもよりよい環境を整えたい。人はいつでも来てくれるわけじゃないから、ギリギリで回さずゆとりを持つ。それが結果的に効率をよくすると思っています。牛舎も分娩室を整えたり、子牛用の牛舎を作ったり、パドック式にして運動のスペースも確保したい。設備投資はかさみますが、トントンで回ればいいんです(笑)。」

松尾さんは人脈を生かして、多くの専門家の知恵も仰いでいます。種牛・繁殖の本場の鹿児島へ出かけては、飼料、生育、経営などのノウハウを吸収し、すぐに試してみるのだそうです。

一方で、畜産クラスター事業など公的な補助金をうまく活用するには、2年先、3年先を読む力も必要です。自ら動いて人脈を広げる行動力、「ディスクハロー」の購入を即決した判断力、じっくりと先を読む力を駆使して、西都市の畜産の底上げを担っている松尾さんです。

西都原古墳群

西都市は古代日向の都として栄え「古事記」「日本書紀」に登場する伝承地が市内に数多く残る場所です。西都市街地の西方にある「西都原(さいとばる)古墳群」は、東西2.6km、南北4.2kmの広い地域に日本最大の317基以上の古墳が集まる古墳群。約1700年前の古墳時代に造られたといわれる円形墳、前方後円墳、方形墳、地下式古墳等が点在し、昭和27年に国の特別史跡として指定を受けています。約2000本の桜のほか、春には菜の花、夏にはヒマワリ、秋にはコスモスが畑一面に咲き乱れます。



担当セールスマン紹介



三菱農機販売(株) 九州支社 児湯営業所 所長 尾崎勝明

児湯営業所は、高鍋牛舎のすぐ近くにあり。修理や調整で週に2~3日は何うだけでなく、松尾社長がお弁当持参で来社され、一緒に昼食を取らせていただくことも。新しい技術にアンテナを研ぎ澄ませている松尾社長、新機種の情報も真剣にお話を聞かせていただきます。

NEW
MACHINERY
01

三菱コンバイン

V450A/V598A・698A/V6120A

本格派4・5・6条コンバインをリニューアル!



※写真はV6120A

Point 1

独自の脱こく核技術で
作業速度が向上

ロング増速ツインこぎ胴

ダイヤメッシュ受網

スーパー
eスレッシャ



多量の材料も効率よく処理し
2.00m/sの作業速度を発揮

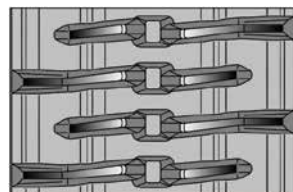
※V598A・698A/V6120A

Point 2

低振動高耐久Zクローラ

新ラグパターンのZクローラ採用で、優れた走行性能と低振動走行を実現。虫くい耐久性と泥離れ性にも優れています。

パターンイメージ



Point 3

MITサービス対応 水分・収量センサー



※オプション。V475A・575A/V598A・698A/V6120Aのみ対応。

三菱独自のIoT機械稼働監視システム「MIT」と連携し、ほ場ごとの水分、収量、稼働時間、燃料消費などを簡単に把握できます。

NEW
MACHINERY
02

三菱一輪管理機

MSD4B・MSD6B・MSDC6B

軽快なうね間作業で、野菜づくりのプロに最適!

MSD6B 6.1馬力 (税込) 280,500円〜

Point 1

車体の荷重バランスを最適化し

左右・上下の
ハンドル操作が
快適に



Point 2

環境にやさしい
高出力エンジン搭載



国内排ガス3次規制に対応した高出力エンジンを搭載。軽い力でリコイルロープを引っ張るだけで簡単にエンジンを始動できます。

Point 3

抜群の操作性で軽快作業



ハンドル周りに操作系を集中配置。前進4段・後進2段変速で、ハンドル高さ調整もできます。

Point 4

野菜づくりに特化した作業性



残耕がない
Vセンターロータリ
(V仕様)



バランスの取りやすい
狭幅2輪ゴムラグ仕様
(W仕様)

標準ロータリの耕幅は3段階に調節可能。アタッチメントも豊富で、うね形状に合わせて耕せます。

グッドデザイン賞記念モデルが登場!

2020年、イーグルデザイン
トラクタシリーズ※が栄え
あるグッドデザイン賞を
受賞しました。
これを記念して受賞限定
モデルである「GSE242」
を発売いたします。

受賞記念特別価格

2,024,000円^(税込)～



23
馬力

GOOD DESIGN AWARD
2020年度受賞

Mitsubishi Agricultural Machinery NEW DESIGN CONCEPT
EAGLE DESIGN
イーグルデザイン

※グッドデザイン賞受賞対象機は「GS182・202・232・252」「GM301(D)・361(D)・451(D)・501(D)・551(D)」 「GA301・331・361・451・501・551」 「GCR1380」です。

使いやすさを追求した充実の機能

ロータリ上下動を
制御し耕深を一定に



耕うん深さを任意の位置に
設定でき自動で一定の深さ
を保ちながら作業すること
ができます。

凹凸の多い場所でも
均平をキープ



本機の傾きに依じてロータ
リの傾きを制御。枕地など凸
凹の多い場所でも高い均平
性を保ちます。

旋回・後進など作業に
合わせて作業機を昇降



ハンドルを切る、変速レバ
ーを後進に入れるなどの操作
で自動で作業機が上昇。下
降操作もワンタッチで楽々。

スムーズに回れる
抜群の旋回性能



前輪が後輪の約2倍の速度
で回転しスムーズに小回り。
旋回中は後輪内側のブレー
キがかかり片ブレーキ不要。

ASUMA 掲示板

これから始める人へ GAPの基本の(キ)

オリンピックの選手村の食材に「GAP認証」が求められたことなどが契機となり、GAP(ギャップ)という言葉が聞くことが増えてきました。農業をこの先もよりよい産業にしていくために、GAPへの取り組みを始めてみませんか?

■GAP(Good Agricultural Practice)とは?

GAPとは「農業生産工程管理」と呼ばれ、言い換えると「よい農業のやり方を実践すること」。例えば、農薬を正しく取り扱って安定生産をする、現場の整理整頓をして安全に働けるようにする、必要なものを探しやすくする、作業手順をルール化して誰もが同じ手順でムダなく作業ができるようにするなど、日常の中での取り組み自体を「GAPに取り組む」といいます。そして、その取り組みを第三者に評価してもらい、客観的に証明することを「GAP認証をとる」といいます。

■GAPに取り組むことで農業の価値が上がる

作業ルールが決まったので迷わなくてよかった



過去のデータが見られるので、勘や経験者に頼らなくてすむ



法令順守で残業が減って、ワークライフバランスを保てる



コストカットができて品質もよくなった



安全性が立証できるので、取引先の開拓がしやすくなった



効率UP▶▶▶ 安全性UP▶▶▶ 働きがいUP▶▶▶ 品質・国際競争力UP▶▶▶▶▶



■GAP認証の取得で販路が広がる

GAP認証は1990年代、当時バラバラだった安全基準を統一するためヨーロッパで生まれました。国際認証の「GLOBAL G.A.P.」のほか、日本発の「ASIA GAP」「JGAP」があります。GAP認証された農産物を取り扱う「GAPパートナー」企業は増加傾向に。新たな販路の開拓が期待できます。

参考文献:オンライン研修「これから始めるGAP」、GAPで農作業安全パンフレット(ともに農林水産省)

興味を持った方はこちらもチェック!

農林水産省
オンライン研修
「これから始めるGAP」
<https://gap.maff.go.jp/>



ASUMA ごはん讃歌

坂本冬美さん



1967年3月30日、和歌山県生まれ。デビュー曲『あばれ太鼓』が80万枚を突破し、日本レコード大賞、日本有線大賞など数々の新人賞を獲得する。2020年11月、サザンオールスターズの桑田佳祐氏が作詞作曲する『ブッダのように私は死んだ』が話題を呼び、若い層へもファンを広げている。

ミカンと梅に囲まれて育つ

2020年末の紅白歌合戦で、桑田佳祐さんが「ミカン農家」に扮して、私宛に応援メッセージを下さいました。そう、私の実家の裏山はミカン山。仲のいい友達もミカン農家に嫁ぎましたし、何かと縁の深い食べ物です。

ふるさと和歌山県の上富田(かみとんだ)町は、ミカンのほかに梅の生産で有名な町です。梅はずっと身近な存在で、高校卒業後も地元の梅干し会社に就職。梅干しの塩分を測る仕事をしながら、お昼休憩の合間に、演歌歌手を目指してご近所のカラオケ教室でお稽古をする日々でした。

ある日、カラオケ教室を主催する「中尾のおっちゃん」がデモテープを番組に出してくださり、そのおかげで師匠の猪俣公章先生に見出され、歌手の道が開けました。まさに大恩人です。猪俣先生にはデビュー曲に『あばれ太鼓』を授けていただき、あれよあれよという間に80万枚を記録しました。人と曲に恵まれ、幸せな歌手生活のスタートを切りました。

35周年の新たな挑戦

おかげさまで今年35周年を迎えます。「節目の年に向けてやりたいことは？」と聞かれて、思わず口から出たのは「サザンオールスターズの桑田さんに曲を書いて頂きたい！」という、実現不可能に近い夢でした。

中学生の頃からサザンには一途に恋しています。まるでラブレターを書くような気持ちで何十年分もの熱い想いを手紙にしたため、桑田さんにお送りしたところ、数カ月後に手渡されたのが『ブッダのように私は死んだ』でした。もう鳥肌が立つわ、涙は出るわ…。桑田さんの肉声のデモを聴きながら、これは本当に

現実なの？と、震えました。

『夜桜お七』『また君に恋してる』など、ヒットに恵まれ順風満帆な歌手人生だと思います。それでも常に新しい扉を開こうと挑戦できるのは、先輩方の背中を見てきたから。五木ひろしさん、都はるみさん、由紀さおりさん、石川さゆりさん…。ジャンルを超えて輝く先輩方が、私を後押しして下さいます。

ふるさとの味を求めて

2020年は皆さまの前で歌えない日々が続き、苦しい年でした。でも、こんな時だからこそ始めた家庭菜園に大ハマリ。これまでは旅生活で、自宅で何かを育てることができませんでした。バルコニーいっぱいキュウリ、トマト、ナス、ルッコラ、バジル…。雨が降ると大量にわく虫、思ったように生らない実を見て、農業はなんて偉大なお仕事なのだろうと今さらながら感じたものです。

地元では水菜や大根はどこからともなく頂くもので、スーパーで買ったことなどありませんでした。穫れたての露地もの野菜は、歯ごたえがよくて、本当においしかった。ふるさとの味といえば、ほうじ茶で炊く「茶粥」も絶品で、ふと思いついては作ります。以前は毎月帰っていた実家にも、しばらく行けなくなっていますので、母の得意な高野豆腐やお豆の卵とじを懐かしく思い出します。シンプルで飾り気のない、私のルーツの味。大切に「食べ継いで」いきたいなと思います。

こぼれぜなし

とにかく朝ごはんをたくさん食べる冬美さん。ごはん、みそ汁、焼き魚、卵、野菜、納豆、梅干と、まるで和定食のよう。現場の仕事は昼に休憩が取れないことも多いため「朝ごはんが勝負」なのだそうです。

ASUMA 読者広場

当たるといいな

三菱農業機械のトラクタ・田植機・コンバインのデザインのモチーフになっている動物は次のうちどれでしょう？

(A) イーグル(鷲) **(B) モンキー(猿)** **(C) ベアー(熊)**

お答えはハガキで

①クイズの答え ②住所・氏名・年齢 ③その他ご意見・ご感想を書いて下記の宛先までご応募ください。

抽選で **坂本冬美さんサイン色紙** と **三菱ブルゾン・キャップ** が当たります。

ご応募は
こちらへ 〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2-133-4
三菱マヒンドラ農機(株)ASUMA編集部
応募締切:2021年6月30日必着



三菱ブルゾンとキャップのセット



三菱農業機械を象徴する“EAGLE DESIGN”(イーグルデザイン)は、鷲の持つ誇り高さ、未来を見通す鋭い眼光、力強さなどを表現しています。スタイリッシュなデザインは農作業のイメージ向上にもつながるとして、2020年度のグッドデザイン賞を受賞しています。

当選おめでとう！

前号(ASUMA17号)の当選者
色字は三山ひろしさんの色紙も当選

堀越 よし子様/千葉県香取市
角倉 ツヤ子様/香川県高松市
難波 善成様/兵庫県神崎郡
諏訪 哲郎様/千葉県香取市
鈴木 勝晴様/福島県西白河郡

本社 島根県松江市東出雲町揖屋 667-1
☎ 0852(52)2111(代)

東京事務所 埼玉県久喜市桜田 2-133-4 ☎ 0480(58)7050

販売会社 三菱農機販売株式会社
本社 埼玉県久喜市桜田 2-133-4 ☎ 0480(58)9524

北海道支社 ☎ 0123(22)1234
東北支社 ☎ 022(207)3711
関東甲信越支社 ☎ 0480(58)9521
中部支社 ☎ 0776(27)3078
西日本支社 ☎ 0869(24)0820
九州支社 ☎ 0942(84)1888

www.mam.co.jp



三菱マヒンドラ農機